

Fusyo Collaboration letter



4月23日 No.5 文責 廣田 秀俊

命を守る行動とは 第1回避難訓練より

4月18日(金)に避難訓練を行いました。地震による津波警報が発せられ垂直避難を開始します。全学年が屋上へと避難しました。所要時間5分46秒でした。校舎での火災発生も想定し、グラウンド避難も行いました。かかった時間は3分55秒です。



どの場所で、どの規模の地震が起きたのか、どこが出火したのか、そのことをきちんと把握するため、子供達は常に放送や指示を聞くことを日頃から意識するようにしています。放送委員の児童から毎日、放送の重要性についての呼びかけが繰り返されています。

災害は忘れた頃にではなく、忘れる暇もなく世界各地で起きています。

大分県でも、この日7時台に小さな地震が3度、震度3の地震が8時台に起きました。訓練で行った活動でしたが、実際の地震を体感した児童は、どのようにこの訓練に向き合っていくのかを真剣に考えて行動していました。



前日の学級では、自分や友だちの命を守る行動について考えていく時間がありました。

合い言葉の“おはしもち”を確かめたり、机の下への避難を実際に行ったり、災害時の身の守り方を確認したりと、訓練に向けた自分の行動に見通しを持っていきました。

今回は、地震、津波、火事に対する訓練を行いました。訓練後のふり返りでは、学年ごとに今後に対応するための成果と課題が出されました。



低学年では自分の行動がどうだったかを動画でふり返ったり、成長ノートを活用した意見交換をしたりして、日頃の行動が大切なことを仲間同士で確かめ合うことができました。

高学年では、成果と課題をさまざまな視点で表現していくことで、改善、修正を行うことがレベルアップにつながっていくことを認識していくことができました。

さまざまな地域で起きたさまざまな災害を教訓として、どう行動していくかは、私たちは常に意識していかなければなりません。日頃の学習で、いざというときに役立つ判断力と行動力が身につくよう、子供達と共に学びを深めていこうと思います。

すべての児童が安心して学校生活を送るために、危機対応・危機管理体制を子供達と共に当事者意識を持って行っていこうと思います。

ぜひ災害対策について、ご家庭でも話題にされ話してみてください。

